経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

熊本県　合志市

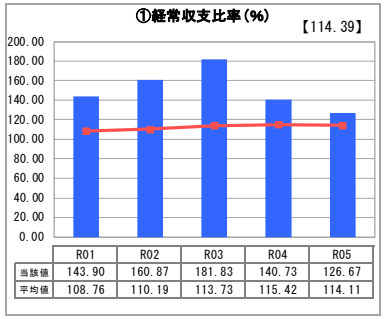
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m³/日)	類似団体区分	施設数	１日平均配水量(m³)
法適用	工業用水道事業	2,300	極小規模	1	2,066
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**給水先事業所数**	**契約水量(m³/日)**	**管理者の情報**	
-	99.5	7	2,227	非設置	

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

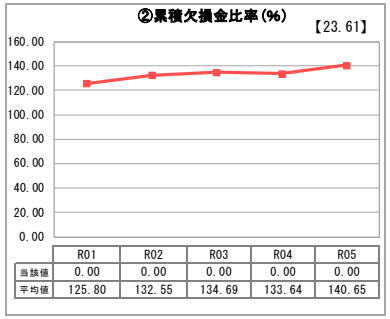
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【114.39】



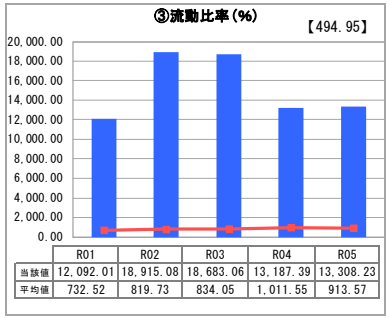
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	143.90	160.87	181.83	140.73	126.67
平均値	108.76	110.19	113.73	115.42	114.11

②累積欠損金比率(%)　【23.61】



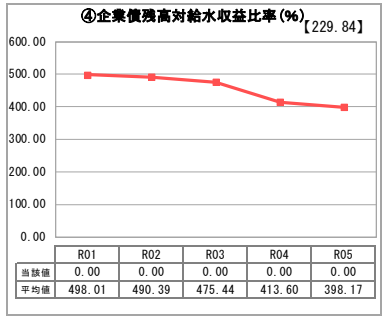
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	125.80	132.55	134.69	133.64	140.65

③流動比率(%)　【494.95】



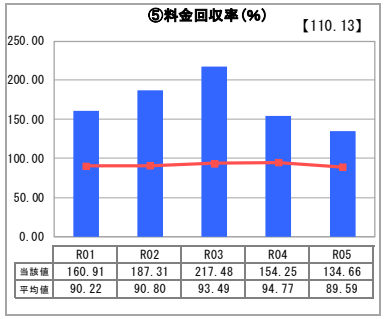
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	12,092.01	18,915.08	18,683.06	13,187.39	13,308.23
平均値	732.52	819.73	834.05	1,011.55	913.57

④企業債残高対給水収益比率(%)　【229.84】



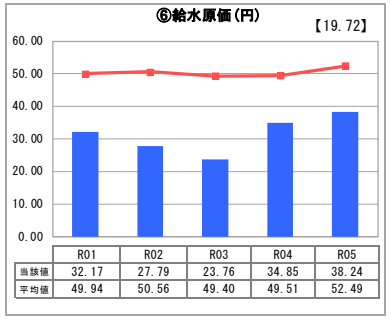
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	498.01	490.39	475.44	413.60	398.17

⑤料金回収率(%)　【110.13】



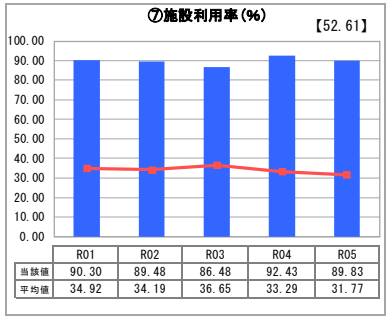
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	160.91	187.31	217.48	154.25	134.66
平均値	90.22	90.80	93.49	94.77	89.59

⑥給水原価(円)　【19.72】



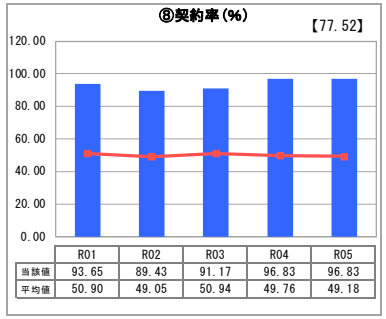
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	32.17	27.79	23.76	34.85	38.24
平均値	49.94	50.56	49.40	49.51	52.49

⑦施設利用率(%)　【52.61】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	90.30	89.48	86.48	92.43	89.83
平均値	34.92	34.19	36.65	33.29	31.77

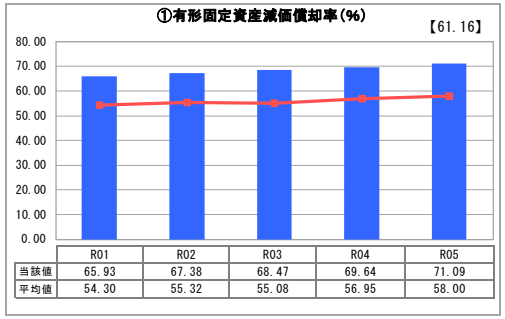
⑧契約率(%)　【77.52】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	93.65	89.43	91.17	96.83	96.83
平均値	50.90	49.05	50.94	49.76	49.18

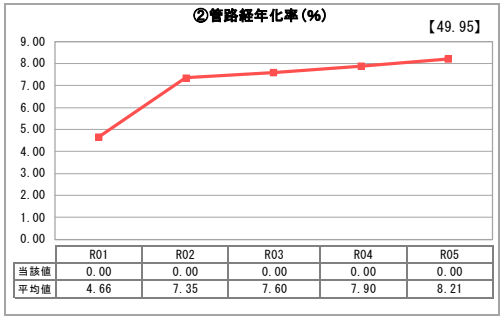
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【61.16】



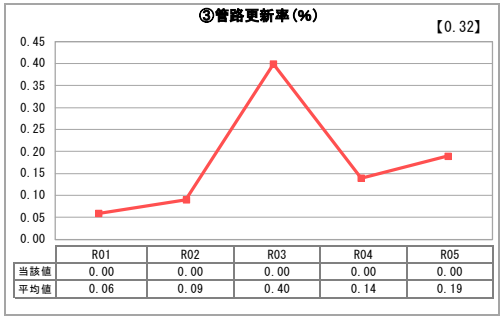
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	65.93	67.38	68.47	69.64	71.09
平均値	54.30	55.32	55.08	56.95	58.00

②管路経年化率(%)　【49.95】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	4.66	7.35	7.60	7.90	8.21

③管路更新率(%)　【0.32】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.06	0.09	0.40	0.14	0.19

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率：100%以上を維持し、類似団体と比較しても高い水準にあり、良好な経営状態と考えられます。
②累積欠損金比率：累積欠損金は発生しておりません。
③流動比率：類似団体平均値を大幅に上回り、短期的な支払能力は十分に備わっていると考えられます。
④企業債残高対給水収益比率：企業債の借入は行っていません。
⑤料金回収率：100%を上回っており、給水に係る費用を給水収益で十分賄えていると考えられます。
⑥給水原価：類似団体と比較しても低い水準であり、工事請負費等の経常費用の増加に伴い、昨年度より数値が増加しています。
⑦施設利用率：類似団体平均値を上回っており、有効に施設利用ができていると考えられます。
⑧契約率：契約水量の大幅増減がないため、近年は数値が横ばいの状態です。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率：類似団体と同様な水準にあり、今後は老朽化の進行が考えられます。
②管路経年化率：法定耐用年数を経過した管路はありません。
③管路更新率：近年更新した管路はありません。

全体総括

近年は安定した経営状態にあると考えられます。全体的に現在の数値を維持していくとともに、さらなる高い水準を目指していかなければならないと思われます。

今後施設等の老朽化の進行が考えられます。令和2年度に策定した経営戦略をもとに、経営基盤の強化、計画的な施設等の更新の実施に向けて取り組んでいきます。